

新着情報 生物多様性の日、田んぼのグリーンウェイブが世界を一回り

あなたもこの運動に参加してみませんか



CBD市民ネット水田部会部会長 呉地正行
NPO 法人 民間稲作研究所 稲葉光國

田んぼは賢明に利用することで、人間も生きものも健康に暮らすことを可能にしてくれる宝物（田からもの）です。私たちが毎日食べるお米が育つ、どこにでもある見慣れた光景の一つである田んぼは、農薬や化学肥料を使わずに、自然の力を利用すれば実に多くの生きものたちが住処として利用します。ラムサール条約ではウェットランドといい、賢明な利用を世界の農業者に呼びかけています。

特に生物多様性を育むことを考えて管理している田んぼでは、毎年たくさん子どもや地域の人々が生きもの調査を実施し、全国で約5,400種の生き物を発見しています。またこのような田んぼで作られたお米は、安心して味わい深く、どの地域でもこんなお米が食べられるような世の中になることを目指して、努力が続けられています。

2008年のラムサール条約COP10では、水田の生物多様性に関する決議が採択され、この決議を生かした活動が続けられてきました。CBD (Convention on Biological Diversity: 生物多様性条約) 市民ネット水田部会は、今年10月に名古屋で開催されるCBDのCOP10 (第10回締約国会議) でも水田の賢明な利用が生物多様性の保全に大きな役割を果たしていることを考え、生きものと共生できる農業を推進する決議が採択されるよう頑張っています。

5月22日は生物多様性の日、この日10時に、生物多様性を大切にしているNPO法人民間稲作研究所附属農場をスタートに、世界の田んぼから「人間も自然も健康であるために、がんばりましょう!!!」のウェイブを送り出そうという計画です。みなさんの笑顔が世界へ、未来へと伝わっていくことを願って。。。。。

グリーンウェイブそのものは、特に子どもが、木を植えることによって生物多様性のつながりを学び、世界へと広げようという啓発活動の一つですが、今回は生物多様性を育み安全なお米づくりの研究に励んでいるNPO法人民間稲作研究所附属農場をキーステーションに全国の農業者のみなさんと子供たちを中心に有機水田の田植と植樹を行います。

開催日	2010年5月22日(土) 9:00~15:00
場所	NPO法人 民間稲作研究所 有機農業技術支援センター
参加費	大人 1000円(昼食代を含む) 子供(小学生) 300円
定員	50名(会場の都合で定員になり次第締め切りとします)
主催	NPO法人 民間稲作研究所、CBD市民ネット水田部会 / ラムサール・ネットワーク日本水田部会 / KWNN (韓国湿地ネットワーク)
協力	かみのかわ有機農業推進協議会・GEOC (地球環境パートナーシッププラザ)・環境省・農水省・FAO・JICA・WWN (世界湿地ネットワーク)・エビアン他

「グリーンウエーブ」キーステーションでの催し

5月21日 準備と前夜祭

- 15:00 有機農業技術支援センター集合（栃木県河内郡上三川町下神主233-1）
 田植作業用具準備：生き物調査用具準備：昼食食材準備：会場準備
 案内標識準備：撮影・インターネット接続準備
- 18:00 打ち合わせ、前夜祭（宿泊 石橋ビジネスホテル 1泊2食 6,000円）

5月22日 グリーンウエーブ

- 8:00 実行委員打ち合わせ・インターネット接続
- 8:30 受付開始 撮影開始
- 9:00 開会行事（技術支援センター）
- 1 開会あいさつ 宇都宮大学 水谷正一
 - 2 趣旨・日程説明 NPO 法人 民間稲作研究所 稲葉光國
- 9:30 移動：作業準備（作業説明）
- 9:59 カウントダウン開始：榎木（準絶滅危惧種；国蝶：オオムラサキの食樹）の植樹
- 10:00 田植開始 「手植え」と「機械植」同時スタート（ササニシキ有機水田）
- 11:00 生き物調査&魚道整備・ザリガニ捕獲（指導者 柿野亘・林鷹央）
- 12:00 昼食準備：会食（おにぎり・漬物・ピザ・有機地ビール・野草とザリガニの天ぷら）
- 13:00 ー世界へ向けてエール発信ー
- ① グリーンウエーブの感動を世界に（映像をみながら 伊藤よしの）
 - ② 有機水田での初めての田植感想、ー お父さん、お母さん
 - ③ 生き物調査 ー 有機圃場の生き物調査結果
 - ④ ザリガニ捕獲 ー 子供たちの自慢と感想
 - ⑤ 生物の多様性を育む有機稲作 ー 民間稲作研究所
 - ⑥ おわりのあいさつ 浅野正富氏



エール発信先 日本：韓国の各地 50カ所程度、バリ島、ベトナム、タイ、ラオス、中国、ネパール、スペイン、ナイロビ（SBSTTA参加者一同）、コスタリカ他

参加申し込み書

ご氏名				所属団体・電話・メール		
ご住所						
同伴者	大人	(男・女)	子供	(男・女)		
参加の内容（該当するところに○印を付けて下さい）				参加者氏名		
1	準備作業（会場準備・映像準備など）に前日から参加					
2	当日の昼食準備に参加					
3	田植作業に参加					

申込先 ファックス 0285-53-1133 [又はメール inasaba@inasaku.or.tv](mailto:inasaba@inasaku.or.tv)